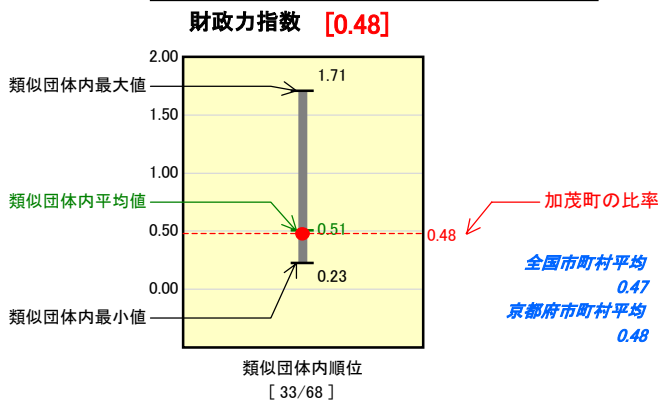


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

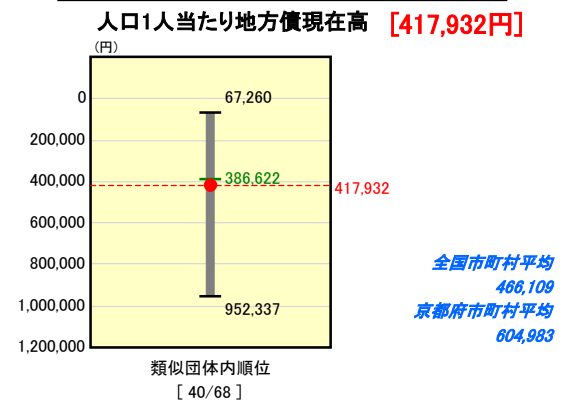
## 京都府 加茂町

人口	16,048人(H17.3.31現在)
面積	36.97 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,164,091千円
歳出総額	5,045,711千円
実質収支	118,380千円

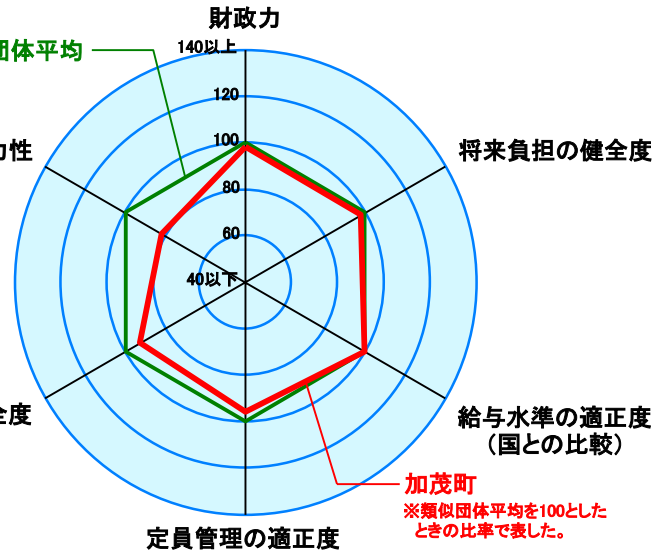
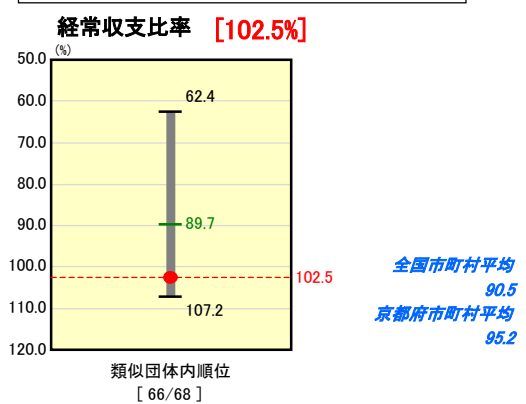
### 財政力



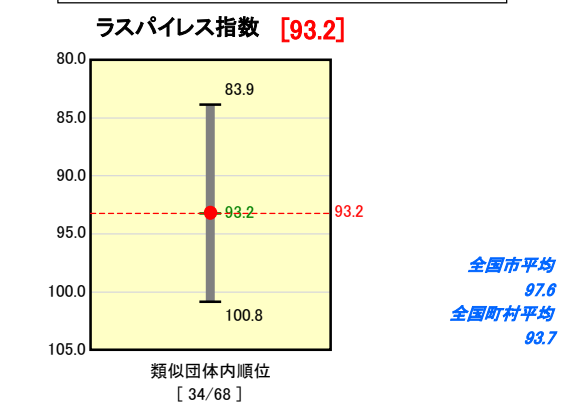
### 将来負担の健全度



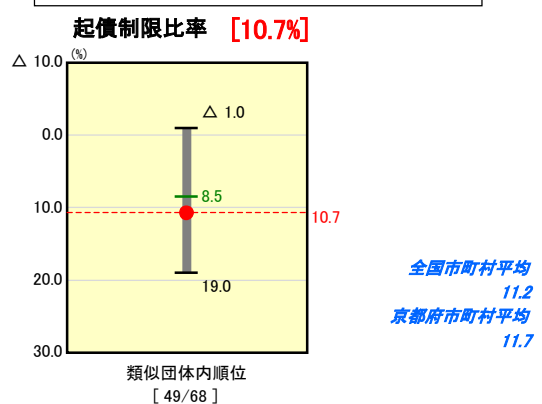
### 財政構造の弾力性



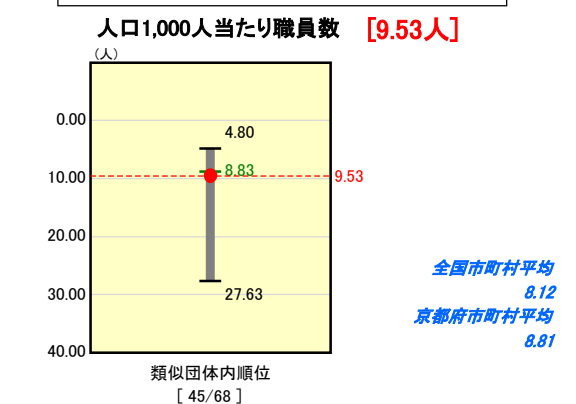
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



**分析欄**

**【財政力指数】**  
平成12年度以降、年々財政力指数は上昇しているが、これは地方交付税の見直しにより数字上好転したものであり、実質的に財政基盤が向上したわけではない。現在、駅を中心とする区画整理事業により、人口増対策及び財政基盤の強化を図っている。

**【経常収支比率】**  
昭和54年から始まったニュータウン開発により、人口が倍増し、税収が大きく伸びたことに併せ、多様な住民ニーズに対応すべく、住民サービスを拡大してきたが、近年急速に高齢化が進み、地方税収入は減少の一途である。さらに、地方交付税の減額により、1億7千万円の減となった。行財政改革により、人件費をはじめ歳出の削減対策を講じ、単年度ベースで2億6千万円の削減を図ったが、医療費、障害者支援費等の社会保障経費が増加し続けていることから、経常収支比率が大きく悪化した。今後は、引き続き行財政改革に取り組み、経営改善を進める。

**【起債制限比率】**  
住環境整備、公共施設整備などの公共投資に積極的に取組んできたため、類似団体平均を若干上回っているが、地方債に極力依存することなく、特定目的基金を活用してきたため、全国及び京都府平均を上回っている。今後は、投資的事業の抑制と共に地方債の発行の抑制を図る。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
施策として重点化してきた保育の充実、自校炊飯方式による学校給食などに多くの職員を配置してきたため、類似団体平均を上回っている。今後は、運営方式の見直し、施設の統廃合を行い、職員の削減を図る。